

職員の任用に関する規則（静岡県人事委員会規則６―６）第４条の規定に基づき、静岡県警察官採用試験の実施について次のとおり公告する。

平成30年３月20日

静岡県警察本部長 筋 伊 知 朗

1 試験区分、採用予定人員

採用予定時期	区 分		採 用 予 定 人 員
平成31年 4 月以降	警察官 A (第 1 回)	一般	男性50人、女性13人
		自己推薦	男性 5 人、女性 2 人
計			70人

ただし、大学を卒業した者若しくは平成30年９月30日までに卒業する見込みの者は、本人の意向を確認した上で、平成30年10月１日に採用となることがある。

2 受験資格

区 分		学 歴	年 齢 等
警察官Ａ	一般	学校教育法による大学（短期大学を除く。）を卒業した者若しくは平成31年３月31日までに卒業する見込みの者又は静岡県人事委員会が同等の資格があると認める者	昭和60年４月２日以降に生まれた者
	自己推薦		

ただし、日本国籍を有しない者及び地方公務員法（昭和25年法律第261号）第16条の規定により地方公務員となることができない者は、受験することができない。

3 試験の方法

(1) 第１次試験

次の試験を行う。

ア 教養試験

大学卒業程度の一般的知識及び知能についての択一式による筆記試験

イ 経歴評定

次の内容について経歴評定を行う。（一般区分のみ）

区分	対 象	
武道	柔道	２段以上（公益財団法人講道館の段位に限る。）
	剣道	２段以上（一般財団法人全日本剣道連盟の段位に限る。）
語学	英語	・実用英語技能検定２級以上 ・ＴＯＥＩＣ４70点以上 ・ＴＯＥＦＬ「ＰＢＴ」４60点以上、「ＣＢＴ」140点以上、 「i B T」48点以上 ・国際連合公用語英語検定Ｃ級以上

	中国語	・中国語検定３級以上 ・漢語水平考試：筆記試験が４級以上（ただし、４級の場合は点数が195点以上）、旧漢語水平考試（2009年度以前）４級以上 ・中国語コミュニケーション能力検定（ＴＥＣＣ）400点以上
	韓国語	・韓国語能力試験４級以上 ・ハングル能力検定準２級以上
	ポルトガル語	・外国人のためのポルトガル語検定試験中級以上 ・外国語としてのポルトガル語検定試験（旧国際ポルトガル語検定試験）初級以上
	スペイン語	スペイン語技能検定４級以上
情報処理		情報処理技術者試験により取得した経済産業省管轄の国家資格
簿記		・日商簿記検定２級以上 ・全経簿記検定１級以上 ・全商簿記検定１級

(2) 第２次試験

第１次試験の合格者に対し、次の試験、検査を行う。

ア 小論文試験（一般区分）

課題に対する理解力、表現力、文書能力（漢字能力を含む。）等についての記述式による筆記試験

ただし、試験は第１次試験日に受験者全員に対して実施し、採点は第２次試験における面接試験受験者分についてのみ行う。

イ アピール論文試験（自己推薦区分）

自分の経験や知識等を警察業務に生かせるかをアピールする記述式による筆記試験（漢字能力を含む。）

ただし、試験は第１次試験日に受験者全員に対して実施し、採点は第２次試験における面接試験受験者分についてのみ行う。

ウ 面接試験

人物についての個別面接及び集団討論による試験

エ 適性検査

警察官としての適性についての検査

オ 身体測定

警察官としての職務遂行に必要な身体的条件を有するか否かについての測定検査で、その検査項目及び合格判定基準は次のとおりとする。

検査項目	合 格 判 定 基 準	
	男 性	女 性
身 長	おおむね160センチメートル以上	おおむね150センチメートル以上

	であること。	であること。
体 重	おおむね47キログラム以上であること。	おおむね43キログラム以上であること。
四肢・関節 機能検査	警察官としての職務遂行に支障のない状態であること。	

カ 体力試験

警察官としての職務遂行に必要な体力を有するか否かについての試験

(7) 体力試験の方法

種 目	実 施 方 法
腕立て伏せ	1. 両手の間隔を肩幅と同じに取り、両足をそろえ、腕は床に対して垂直に立て、概ね90度くらいまで曲げ、完全に肘が伸びるまで戻す。 2. おおむね2秒に1回のペースで実施し、何回できるか測定する。 3. 男性は40回、女性は30回までカウントする。
上体起こし	1. 両ひざを曲げ、あおむけに寝た姿勢で、両手を軽く握り、両腕を胸の前で組む。 2. 「始め」の合図で両ひじと両ももがつくまで上体を起こす。 3. 30秒間で何回上体を起こすことができるかを測定する。
反復横跳び	1. 1メートル間隔に引かれた3本のライン上でサイドステップする。 2. それぞれのラインを通過する度に1回とする。 3. 20秒間で何回サイドステップすることができるかを測定する。
握 力	1. 直立の姿勢で握力計を身体や衣服に触れないようにして力一杯握りしめる。 2. 左右2回ずつ測定する。
立ち幅跳び	1. つま先が踏み切り線の前端にそろうように立ち、両足で踏み切って前方へ跳び、跳躍した距離を計測する。 2. 2回実施する。

(i) 体力試験の不合格判定基準

種 目	体力試験不合格判定基準	
	男 性	女 性
腕立て伏せ	19回以下	5回以下
上体起こし	21回以下	15回以下
反復横跳び	39回以下	32回以下
握 力	32キログラム以下	19キログラム以下
立ち幅跳び	158センチメートル以下	116センチメートル以下

キ 身体検査

胸部疾患、伝染性の病気、視力、色覚、聴力等についての検査

なお、視力についての合格基準は、「両眼とも裸眼視力が0.6以上又は矯正視力が1.0以上」であること。

(3) 配点

項 目		配 点	
		一般	自己推薦
第1次試験	教養試験	100点	50点
	経歴評定	6点を加点	—
第2次試験	小論文試験	50点	—
	アピール論文試験	—	50点
	体力試験	150点	100点
	面接試験	600点	700点

4 試験の時期及び場所

試 験	時 期		場 所
第1次試験	平成30年5月13日（日）		三島市内、静岡市内及び浜松市内
第2次試験	第1日	平成30年5月26日（土）～5月28日（月）	警察学校
	第2日	平成30年7月2日（月）～7月12日（木）	静岡市内

第2次試験第1日に適性検査、身体測定及び体力試験を実施し、第2日に面接試験を実施する。

なお、面接試験は、身体測定又は体力試験不合格者以外の者を対象として実施する。

5 合格者の発表

- (1) 第1次試験合格者の発表は、平成30年5月21日（月）に合格者の受験番号を静岡県庁本館玄関にある掲示板上に掲示して行う。

なお、合格者に文書で通知する。

- (2) 第2次試験面接試験受験対象者の発表は、平成30年6月4日（月）に面接試験受験対象者の受験番号を静岡県庁本館玄関にある掲示板上に掲示して行う。

- (3) 最終合格発表は、平成30年7月下旬に合格者の受験番号を静岡県庁本館玄関にある掲示板上に掲示して行う。

なお、合格者に文書で通知する。

6 受験手続

平成30年3月20日（火）付けで公表される、平成30年度実施静岡県警察官A採用試験案内にて示す方法による。

- (1) 試験案内の配布

試験案内は、静岡県警察本部警務部警務課又は県内の各警察署、交番、駐在所等において配布する。

なお、試験案内を郵送により請求する場合は、140円切手を貼ったあて先明記の返信用封筒（縦約33センチメートル、横約24センチメートル）を必ず同封すること。

(2) 受験の申込み

ふじのくに電子申請サービス（<https://s-kantan.com/pref-shizuoka-u/>）により行うものとし、申込受付期間は平成30年3月20日（火）から4月13日（金）午後5時15分までとする。

ただし、電子申請によることができない者は、静岡県警察のホームページに掲示するダウンロード申込用紙に必要事項を記入し、静岡県警察本部警務部警務課採用チーム（郵便番号420-8610静岡市葵区追手町9番6号）に郵送で提出するものとする。郵送による場合は4月13日（金）までの消印のあるものに限る。